

## 子ども・子育て支援に関するニーズ調査 調査項目(案)

調査項目案は、国が示す必須項目を中心とした、「量の見込み」を把握するために必要な項目で、回答者の負担を考慮して 30 問程度としています。(全調査項目数：33 うち必須項目数：23)

「任意項目」は、国からの算出等の考え方(「第三期市町村子ども・子育て支援事業計画等における「量の見込み」の算出等の考え方)を踏まえ、より正確なニーズ把握を行うための項目です。(任意項目数：5)

「新規項目」は、直接的に「量の見込み」等に係るものではありませんが、昨今の社会情勢や本市のこどもいきいき未来計画策定にあたり、把握することが好ましいと考える項目です。(新規項目数：5)

## 〔 調査内容 〕

## ① 家庭の基本情報について

家族構成や保護者の就労状況など、家庭の基本情報について聞くもの。家庭の状況により必要なサービスは異なるため、サービス提供のための前提となる調査 ➡ 問1～問9

## ② 認定こども園、保育所、幼稚園等定期的に利用したい施設やサービスについて

定期的に利用したい施設やサービスについて、どれくらいの利用希望があるのかを聞くもの。 ➡ 問10～問13

## ③ 一時的な預かりや地域子育て支援拠点などの子育て支援サービスについて

一時的な預かりや地域子育て支援拠点等、子育てを支援するサービスについて、どれくらいの利用希望があるのかなどを聞くもの。また、育児休業の取得状況について合わせて聞くもの。 ➡ 問14～問27

## ④ その他

- ・こども誰でも通園制度について聞くもの。 ➡ 問28
- ・子育てについての意識や子育て環境について聞くもの。 ➡ 問29～問30
- ・こどもの権利について聞くもの。 ➡ 問31～問32
- ・自由記述 ➡ 問33

## 項目種別 (次ページからの表記説明)

**必須**：国が作成した調査票イメージにおいて、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」の算出上必要とされている項目

**任意**：国が作成した調査票イメージに設定されている任意項目(平成30年度に実施した調査結果と経年比較が行うことが有効と考えられる項目を含む)

**新規**：「こども未来戦略方針」等を踏まえ、本市で新たに追加する項目

No.	項目種別	趣旨	R5年度（今回）調査	備考 ※前回調査● (問番号)
1	必須	居住区	<p>問1 お住まいの小学区としてあてはまる番号1つに○をつけてください。</p> <p>1. 八尾      2. 山本      3. 用和      4. 久宝寺      5. 龍華      6. 大正  7. 桂      8. 安中      9. 竹濑      10. 南高安      11. 高安      12. 曙川  13. 北山本      14. 南山本      15. 志紀      16. 高美      17. 長池      18. 東山本  19. 美園      20. 永畑      21. 刑部      22. 高美南      23. 西山本      24. 高安西  25. 曙川東      26. 亀井      27. 上之島      28. 大正北  29. 小学区がわからない ⇒ お住まいの町名をご記入ください。  ( )</p>	●
2	必須	こどもの生年月日	<p>問2 封筒のあて名のお子さんの生年月等を( )内にご記入ください。  平成・令和・西暦( )年( )月生まれ</p>	●
3	必須	回答者とこどもの関係	<p>問3 この調査票に回答される方はどなたですか。封筒のあて名のお子さんからみた関係でお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。</p> <p>1. 母親                                      2. 父親  3. その他( )</p>	●
4	必須	配偶者の有無	<p>問4 この調査票に回答される方の配偶関係についてお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。</p> <p>1. 配偶者がいる                                      2. 配偶者はいない</p>	●
5	必須	こどもの子育て（教育を含む）を主に 行っている人	<p>問5 封筒のあて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に 行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係であてはまる番号1つに○をつけてください。選択肢はあて名のお子さん からみた関係です。</p> <p>1. 父母ともに                                      2. 主に母親  3. 主に父親                                      4. 主に祖父母  5. その他( )</p>	●
6	任意	日頃こどもの面倒をみてる人の 有無	<p>問6 日頃、封筒のあて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。</p> <p>1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる  2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる  3. 日常的にこどもをみてもらえる知人がいる  4. 緊急時もしくは用事の際にはこどもをみてもらえる知人がいる  5. いずれもない</p>	

No.	項目種別	趣旨	R5年度（今回）調査	備考 ※前回調査● (問番号)
7	必須	<p>保護者の就労状況 (仕事をもっている人に対して) 1 週間当たりの労働日数、1日あたりの 就労時間</p>	<p>問7 封筒のあて名のお子さんの保護者が現在働いている状況（自営業や自営業を手伝っている場合も含む）について、あてはまる番号1つに○をつけてください。</p> <p>(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない → 問10へ</li> <li>2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で働いているが、産休・育休・介護休業中である → 問10へ</li> <li>3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない → 問8へ</li> <li>4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で働いているが、産休・育休・介護休業中である → 問8へ</li> <li>5. 以前は働いていたが、現在は働いていない → 問9へ</li> <li>6. これまで働いたことがない → 問9へ</li> </ol>	●
			<p>(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で働いており、育休・介護休業中ではない → 問10へ</li> <li>2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で働いているが、育休・介護休業中である → 問10へ</li> <li>3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で働いており、育休・介護休業中ではない → 問8へ</li> <li>4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で働いているが、育休・介護休業中である → 問8へ</li> <li>5. 以前は働いていたが、現在は働いていない → 問9へ</li> <li>6. これまで働いたことがない → 問9へ</li> </ol>	●

No.	項目種別	趣旨	R5年度（今回）調査	備考 ※前回調査● (問番号)
8	必須	(パート・アルバイトで仕事をもっている人に対して)フルタイムへの転換希望の有無	<p>問8 問7の(1)または(2)で「3.」、「4.」(パート・アルバイト等で働いている)に○をつけた方にうかがいます。</p> <p>フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。</p> <p>(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】</p> <p>1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある  2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない  3. パート・アルバイトなどで働き続けることを希望  4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい</p>	●
			<p>(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】</p> <p>1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある  2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない  3. パート・アルバイトなどで働き続けることを希望  4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい</p>	●

No.	項目種別	趣旨	R5年度（今回）調査	備考 ※前回調査● (問番号)
9	必須	(仕事をもっていない人に対して) 就労希望の有無	<p>問9 問7の(1)または(2)で「5.」または「6.」に○をつけた方にうかがいます。働きたいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、( )内に具体的な数字をご記入ください。</p> <p>(1) 母親</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子育てや家事等に専念したい(働く予定はない)</li> <li>2. 1年より先、一番下のこどもが( )歳になったところに就労したい</li> <li>3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態 (ア)フルタイム (イ)パートタイム・アルバイト等 →1週間あたり( )日 1日あたり( )時間</li> </ol> <p>※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労 「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労</p> <p>(2) 父親</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子育てや家事等に専念したい(働く予定はない)</li> <li>2. 1年より先、一番下のこどもが( )歳になったところに就労したい</li> <li>3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態 (ア)フルタイム (イ)パートタイム・アルバイト等 →1週間あたり( )日 1日あたり( )時間</li> </ol>	●

No.	項目種別	趣旨	R5年度（今回）調査	備考 ※前回調査● (問番号)
10	必須	認定こども園、保育所、幼稚園等の こどもを預かる施設やサービスの利用の有無 (利用している人に対して) 利用している施設やサービスの種類	<p>問10 あて名のお子さんは、現在、平日、認定こども園、保育所、幼稚園等、どのような「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。</p> <p>1. 利用していない 2. 利用している→あてはまる記号すべてに○をつけてください。</p> <p>ア 幼稚園（通常就園時間の利用） イ 幼稚園+幼稚園の預かり保育（通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ） ウ 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの） エ 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設） オ 小規模な保育施設（主に3歳未満の子どもをおおむね6～19人預かる施設で、市が認可したもの。） カ 家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを保育する事業） キ 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設） ク 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設） ケ その他の認可外の保育施設 コ 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者がこどもの家庭で保育する事業） サ 地域子育て支援拠点等子育ての仲間が集まる場 シ ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業） ス その他（ ）</p>	●
11	必須	(利用している人に対して) 1週あたりの日数、1日あたりの時間（現在・希望）	<p>問11 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。（ ）内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）9：00～18：00のように24時間制でご記入ください。</p> <p>(1) 現在 1週間あたり（ ）日 保育時間帯（ ）：（ ）～（ ）：（ ）</p> <p>(2) 希望 1週間あたり（ ）日 保育を希望する時間帯（ ）：（ ）～（ ）：（ ）</p>	●

No.	項目種別	趣旨	R5年度（今回）調査	備考 ※前回調査● （問番号）
12	必須	平日、定期的に利用したい施設やサービスの種類	<p>問12 現在、利用している、していないにかかわらず、封筒のあて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。 なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生する可能性があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼稚園（通常のが園時間の利用）</li> <li>2. 幼稚園+幼稚園の預かり保育（通常のが園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）</li> <li>3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）</li> <li>4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）</li> <li>5. 小規模な保育施設（主に3歳未満の子どもをおおむね6～19人預かる施設で、市が認可したもの）</li> <li>6. 家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを保育する事業）</li> <li>7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）</li> <li>8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）</li> <li>9. その他の認可外の保育施設</li> <li>10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）</li> <li>11. 地域子育て支援拠点等子育ての仲間が集まる場</li> <li>12. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）</li> <li>13. 特になし</li> <li>14. その他（                                 ）</li> </ol>	●
13	任意	（幼稚園又は預かり保育の希望、かつ認定こども園、保育所等のサービスを希望している人に対して）特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用希望	<p>問13 問12で「1. 幼稚園（通常のが園時間の利用）」または「2. 幼稚園+幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3. 」～「12. 」にも○をつけた方にうかがいます。 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用を強く希望しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。</p> <p>1. はい   2. いいえ</p>	●

No.	項目種別	趣旨	R5年度（今回）調査	備考 ※前回調査● (問番号)
14	必須	地域子育て支援拠点事業の利用状況	<p>問14 封筒のあて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「地域子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。 次の中から、利用されている番号すべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域子育て支援拠点事業 1週間あたり（ ）回 または 1か月あたり（ ）回程度</li> <li>2. その他市（町／村）が実施している類似の事業 (具体名： ) 1週間あたり（ ）回 または 1か月あたり（ ）回程度</li> <li>3. 利用していない</li> <li>4. 知らない</li> <li>5. その他（ ）</li> </ol>	●
15	必須	地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望	<p>問15 問14のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していない、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。あてはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。 なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生する可能性があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用していないが、今後利用したい 1週間あたり（ ）回 もしくは 1か月あたり（ ）回程度</li> <li>2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい 1週間あたりさらに（ ）回 もしくは 1か月あたりさらに（ ）回程度</li> <li>3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない</li> </ol>	●



No.	項目種別	趣旨	R5年度（今回）調査	備考 ※前回調査● (問番号)
16	必須	土曜日、日曜日・祝日の認定こども園、保育所、幼稚園等の利用希望	<p>問16 封筒のあて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）9：00～18：00のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生する可能性があります。</p> <p>※教育・保育事業とは、認定こども園、保育所、幼稚園等の事業をさしますが、親族・知人による預かりは含みません。</p> <p>(1) 土曜日  1. 利用する必要はない  2. ほぼ毎週利用したい ➡ 利用したい時間帯（   ：   ～   ：   ）  3. 月に1～2回は利用したい ➡ 利用したい時間帯（   ：   ～   ：   ）</p> <p>(2) 日曜・祝日  1. 利用する必要はない  2. ほぼ毎週利用したい ➡ 利用したい時間帯（   ：   ～   ：   ）  3. 月に1～2回は利用したい ➡ 利用したい時間帯（   ：   ～   ：   ）</p>	●
17	必須	(幼稚園を利用している人に対して) 長期休暇中の幼稚園の利用希望	<p>問17 封筒のあて名のお子さんが、「幼稚園」（認定こども園の幼稚園部分を含む）を利用されている方にかがいます。</p> <p>夏休み・冬休み等、長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）9：00～18：00のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。</p> <p>1. 利用する必要はない  2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい ➡ 利用したい時間帯（   ：   ～   ：   ）  3. 休みの期間中、週に数日利用したい ➡ 利用したい時間帯（   ：   ～   ：   ）</p>	●
18	必須	(平日、定期的に認定こども園、保育所、幼稚園などを利用している人に対して) 病気やけがで認定こども園等を利用できなかったことの有無	<p>問18 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問10で「2.」に○をつけた方）にかがいます。該当しない方（問10で「1.」に○をつけた方）は、問21にお進みください。</p> <p>この1年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やけがで認定こども園、保育所、幼稚園等の施設やサービスを利用できなかったことはありますか。</p> <p>1. あった ➡ 問19へ  2. なかった ➡ 問21へ</p>	●

No.	項目種別	趣旨	R5年度（今回）調査	備考 ※前回調査● (問番号)																				
19	必須	(あった人に対して) この1年間の 対処方法とその日数	<p>問19 問18で「1. あった」に○をつけた方におうかがいします。 封筒のあて名のお子さんが病気やけがで認定こども園、保育所、幼稚園等の施設やサービスを利用できなかった場合に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も( )内に数字でご記入ください。 (半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th>1年間の対処方法</th> <th>日数(年間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 父親が休んだ</td> <td>( ) 日→問20へ</td> </tr> <tr> <td>2. 母親が休んだ</td> <td>( ) 日→問20へ</td> </tr> <tr> <td>3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった</td> <td>( ) 日→問21へ</td> </tr> <tr> <td>4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた</td> <td>( ) 日→問21へ</td> </tr> <tr> <td>5. 病児・病後児の保育を利用した</td> <td>( ) 日→問21へ</td> </tr> <tr> <td>6. ベビーシッターを利用した</td> <td>( ) 日→問21へ</td> </tr> <tr> <td>7. ファミリー・サポート・センターを利用した</td> <td>( ) 日→問21へ</td> </tr> <tr> <td>8. やむをえずこどもだけで留守番をさせた</td> <td>( ) 日→問21へ</td> </tr> <tr> <td>9. その他( )</td> <td>( ) 日→問21へ</td> </tr> </tbody> </table>	1年間の対処方法	日数(年間)	1. 父親が休んだ	( ) 日→問20へ	2. 母親が休んだ	( ) 日→問20へ	3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	( ) 日→問21へ	4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	( ) 日→問21へ	5. 病児・病後児の保育を利用した	( ) 日→問21へ	6. ベビーシッターを利用した	( ) 日→問21へ	7. ファミリー・サポート・センターを利用した	( ) 日→問21へ	8. やむをえずこどもだけで留守番をさせた	( ) 日→問21へ	9. その他( )	( ) 日→問21へ	●
1年間の対処方法	日数(年間)																							
1. 父親が休んだ	( ) 日→問20へ																							
2. 母親が休んだ	( ) 日→問20へ																							
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	( ) 日→問21へ																							
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	( ) 日→問21へ																							
5. 病児・病後児の保育を利用した	( ) 日→問21へ																							
6. ベビーシッターを利用した	( ) 日→問21へ																							
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	( ) 日→問21へ																							
8. やむをえずこどもだけで留守番をさせた	( ) 日→問21へ																							
9. その他( )	( ) 日→問21へ																							
20	必須	(こどもの病気のため仕事を休んだ ことがある人に対して) 病気のこ どものための保育施設等の利用希望	<p>問20 問19で「1.」「2.」のいずれかに回答した方におうかがいます。 その際、「できれば病児・病後児の保育を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても( )内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となる場合があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>できれば病児・病後児保育を利用したい ⇒ ( ) 日</li> <li>利用したいとは思わない</li> <li>その他 ( )</li> </ol>	●																				

No.	項目種別	趣旨	R5年度（今回）調査	備考 ※前回調査● (問番号)
21	必須	こどもを預かるサービスを不規則な利用の有無と利用したサービスの1年間のおおよその利用日数	<p>問21 封筒のあて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を（ ）内に数字でご記入ください。</p> <p>利用している事業</p> <p>1. 一時預かり 利用日数（ ）日 （私用など理由を問わずに認定こども園、保育所等で一時的にこどもを保育する事業）</p> <p>2. 幼稚園の預かり保育 利用日数（ ）日 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不規則に利用する場合のみ）</p> <p>3. ファミリー・サポート・センター 利用日数（ ）日</p> <p>4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ（児童養護施設等で休日・夜間、こどもを保護する事業） 利用日数（ ）日</p> <p>5. ベビーシッター 利用日数（ ）日</p> <p>6. その他（ ） 利用日数（ ）日</p> <p>7. 利用していない</p>	●
22	必須	1年間に必要な「一時預かり」の利用と利用したい人に対して、利用したいサービスごとの日数	<p>問22 封筒のあて名のお子さんについて、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。）</p> <p>なお、これらの事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかる場合があります。</p> <p>1. 利用したい 計（ ）日／年間</p> <p>ア 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的（ ）日</p> <p>イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等（ ）日</p> <p>ウ 不規則の就労（ ）日</p> <p>エ その他（ ）（ ）日</p> <p>2. 利用する必要はない</p>	●

No.	項目種別	趣旨	R5年度（今回）調査	備考 ※前回調査● (問番号)
23	必須	こどもを「泊りがけ」で家族以外にみてもらったことの有無とあった人に対して、その対処方法ごとの日数	<p>問23 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、封筒のあて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらうことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。</p> <p>対処方法</p> <p>1. あった</p> <p>ア （同居者を含む）親族・知人にみてもらった（ ）泊</p> <p>イ 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）（ ）泊</p> <p>ウ イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した（ ）泊</p> <p>エ やむをえずこどもを同行させた（ ）泊</p> <p>オ やむをえずこどもだけで留守番をさせた（ ）泊</p> <p>カ その他（ ）（ ）泊</p> <p>2. なかった</p>	●
24	必須	小学校低学年のうちの放課後の過ごし方	<p>問24 封筒のあて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたりの日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童室（学童保育）」を選択された場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18：00のように24時間制でご記入ください。</p> <p>1. 自宅 週（ ）日くらい</p> <p>2. 祖父母宅や友人・知人宅 週（ ）日くらい</p> <p>3. 放課後児童室（学童保育） → 下校時から（ ）：（ ）まで 週（ ）日くらい</p> <p>4. 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾等） 週（ ）日くらい</p> <p>5. 青少年会館 週（ ）日くらい</p> <p>6. 放課後子ども教室等地域の取り組み 週（ ）日くらい</p> <p>7. 放課後等デイサービス 週（ ）日くらい</p> <p>8. ファミリー・サポート・センター 週（ ）日くらい</p> <p>9. その他（公民館、公園等） 週（ ）日くらい</p>	●

No.	項目種別	趣旨	R5年度（今回）調査	備考 ※前回調査● (問番号)
25	必須	小学校高学年のうちの放課後の過ごし方	<p>問25 封筒のあて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたりの日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童室（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。            時間は必ず（例）18：00のように24時間制でご記入ください。            ※ だいたいのこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自宅 週（ ）日くらい</li> <li>2. 祖父母宅や友人・知人宅 週（ ）日くらい</li> <li>3. 放課後児童室（学童保育） → 下校時から（ ）まで 週（ ）日くらい</li> <li>4. 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾等） 週（ ）日くらい</li> <li>5. 青少年会館 週（ ）日くらい</li> <li>6. 放課後子ども教室等、地域の取り組み 週（ ）日くらい</li> <li>7. 放課後等デイサービス 週（ ）日くらい</li> <li>8. ファミリー・サポート・センター 週（ ）日くらい</li> <li>9. その他（公民館、公園等） 週（ ）日くらい</li> </ol>	●
26	任意	こどもが生まれたときの育児休業取得の有無と取らなかった場合の理由	<p>問26 封筒のあて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。            また、取得していない方はその理由を、【理由番号】から選び数字をご記入ください。</p> <p>・母親 →（いずれかに○）            【父子家庭の場合は記入は不要です】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 働いていなかった</li> <li>2. 取得した（取得中である）</li> <li>3. 取得していない 理由番号（ ）</li> </ol> <p>・父親 →（いずれかに○）            【母子家庭の場合は記入は不要です】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 働いていなかった</li> <li>2. 取得した（取得中である）</li> <li>3. 取得していない 理由番号（ ）</li> </ol> <p>（取得していない方 【理由番号】）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった</li> <li>2. 仕事が忙しかった</li> <li>3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった</li> <li>4. 仕事に戻るのが難しそうだった</li> <li>5. 昇給・昇格等が遅れそうだった</li> <li>6. 収入減となり、経済的に苦しくなる</li> <li>7. 認定子ども園・保育所・幼稚園等に預けることができた</li> <li>8. 配偶者が育児休業制度を利用した</li> <li>9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえる等、制度を利用する必要がなかった</li> <li>10. 子育てや家事に専念するため退職した</li> <li>11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）</li> <li>12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった</li> <li>13. 育児休業を取得できることを知らなかった</li> <li>14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した</li> <li>15. その他（ ）</li> </ol>	●

No.	項目種別	趣旨	R5年度（今回）調査	備考 ※前回調査● (問番号)
27	任意	(育児休暇を取った人に対して) 職場に復帰の有無	<p>問27 封筒のあて名のお子さんについて、育児休業取得後、職場に復帰した方にうかがいます。該当しない方は問28にお進みください。 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。 ( ) 内に数字でご記入ください。</p> <p>(1) 母親 実際の取得期間 ( ) 歳 ( ) か月 希望する期間 ( ) 歳 ( ) か月</p> <p>(2) 父親 実際の取得期間 ( ) 歳 ( ) か月 希望する期間 ( ) 歳 ( ) か月</p>	●
28	新規	新制度「こども誰でも通園制度」の利用希望の有無	<p>問28 国が検討している「こども誰でも通園制度」が創設された場合、利用したいと思いますか。また、利用を希望する場合、週あたりの日数と時間帯を( ) 内に記入してください。 なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生する可能性があります。</p> <p>1. 利用したい 週 ( ) 日 保育を希望する時間帯 ( : ) ~ ( : ) 2. 利用したいと思わない</p> <p>※こども誰でも通園制度とは、国が現在検討している事業であり、認定こども園、保育所、幼稚園等の利用要件を緩和し、親が就労していなくても時間単位等で柔軟にこどもを保育所などに預けられるようにする制度のことです。</p>	

No.	項目種別	趣旨	R5年度（今回）調査	備考 ※前回調査● (問番号)
29	新規	養育環境の整備 子育てに関して、日常の悩んでいること、あるいは気になること	問29 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。 (1) (2) それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。  (1) こどもに関すること 1. 病気や発育発達に関すること 2. 食事や栄養に関すること 3. 子育て支援サービスのこと 4. こどものしつけに関すること 5. こどもと過ごす時間が十分取れないこと 6. こどもの教育・保育に関すること 7. こどもの友だちづきあいに関すること 8. 特にな 9. その他 ( )  (2) ご自身に関すること 1. 子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと☒ 2. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと 3. 子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと 4. ご自身の子育てについて、身近な人の見る目が気になること 5. 子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと 6. 仕事や趣味など自分の時間が十分取れないこと 7. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと 8. 子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと 9. 子育てによる身体の疲れが大きいこと 10. こどもの教育にかかる経済的な不安が大きいこと 11. 特にな 12. その他 ( )	【令和3年】内閣府

No.	項目種別	趣旨	R5年度（今回）調査	備考 ※前回調査● (問番号)
30	新規	子育ての不安や悩みがあるときの相談相手や相談先	<p>問30 ご自身の子育ての不安や悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。 あてはまる番号すべてに○をつけてください。</p> <p>1. 配偶者・パートナー 2. 自分の親 3. 配偶者・パートナーの親 4. きょうだい・その他親戚 5. 知人や友人 6. 職場関係者 7. 保健センターの保健師・こども総合支援センターほっぷの相談員 8. 市役所等の公的機関 9. 認定こども園・保育所・幼稚園等の職員 10. 地域子育て支援拠点などのスタッフ 11. 地域の民生委員・児童委員 12. 民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む） 13. 医療機関の医師や看護師 14. インターネットのサイトへの書き込み、SNSやLINEによる相談 15. その他（ 16. 相談できる相手がない</p>	大阪府子どもの生活に関する実態調査（保護者向け） 問19一部加工



No.	項目種別	趣旨	R5年度（今回）調査	備考 ※前回調査● (問番号)
31	新規	<p>こどもの権利 こどもの権利条約に関する内容の理解度、認知度 (今後、こども基本法や子どもの権利に関する啓発や教育に取り組むにあたり、認知度を把握し、施策を検討する際の指標とする)</p>	<p>問31 「こどもの権利」を知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 名前も内容も知っている</li> <li>2. 名前は知っているが内容は知らない</li> <li>3. 知らなかった</li> </ol> <p>※こどもの権利とは、すべての子どもたちが健やかに自分らしく育つために欠かせない基本的な権利で、すべての子どもが生まれた時からもっているものです。</p>	他市事例あり
32	新規	<p>こどもの権利 こどもの権利条約に関する内容の理解度、認知度 (今後、こども基本法や子どもの権利に関する啓発や教育に取り組むにあたり、認知度を把握し、施策を検討する際の指標とする)</p>	<p>問32 こどもの権利の中で大切だと思うことはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生きる権利（住む場所や食べ物があり、医療を受けられる等、命が守られる）</li> <li>2. 育つ権利（勉強したり遊んだりして、もって生まれた能力を十分に伸ばしながら成長できる）</li> <li>3. 守られる権利（紛争に巻き込まれず、難民になったら保護され、暴力や搾取、有害な労働等から守られる）</li> <li>4. 参加する権利（自由に意見を表したり、団体を作ったりできる）</li> </ol>	
33	任意	自由記述	<p>問33 最後に、教育・保育環境の充実等、子育ての環境や支援に関してご意見があれば、自由にご記入ください。</p>	●